

【22_108/思考系メルマガ】『リスク』を大きく取るのは一番最後

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

僕のメルマガに登録して下さる人の中には、結構な割合でこれまでの学習経緯を事細かく書いて送ってくれたりするのですが

書かれている内容を読むと大抵共通していることがあって

『確立された技術』が無いうちに、リアルトレードでレバレッジを掛け過ぎて大損していることが多いようです。

そして、ほとんどの場合はポジポジ病を抱えているケースが多いです。

また、大きく損をした反動でタジタジ病になってしまい、ずっと過去チャートの検証から動かずなかなかフォワードテストに踏み込めない方も稀におられます。

今回は、そもそもなぜそうになってしまう人が多いのか、そしてこれからどうすべきなのかについて僕の考えをまとめていこうと思います。

「
■ 間違いの元は「最初に」リスクを大きく取ってしまう事」

トレード、特にFXはレバレッジを武器にして小資金から稼ぐのが戦術の基本になるので

確かにリスクを大きく取ること「自体は」間違っていない。

ただ、ここで誤解を解かないと行けないと常々思うのは

「小資金から稼ぐ」というのは、法外なレバレッジを掛けてギャンブル的なトレードをすることではない

という点です。

皆さんは、『優秀』と言われるファンドマネージャーの年利がどれくらいの水準かをご存知ですか？

これは、一番プレイヤーも多い株式市場の話なので、完全に為替の世界に適用できる訳ではありませんが

“CONSTANT”に『年利10%』を叩き出せれば非常に優秀だと言われています。

勿論、FXと違って運用する金額は桁違いですが、『桁違いの金額』を運用するからこそ

リスクに対して皆さん非常に敏感です。

FXの場合、「小資金から」という参入障壁の低さも相まってだと思いますが

「どこかでズッコケたら破滅しかねないレバレッジ」を張って大金を得る事が

必勝の考え方であるという「トンデモ思考」が横行しています。

これは、程度の差もあるとは思いますが、「勝ち方(手法)」だけを売っている発信者は大抵そんな感じだというのが、僕の印象です。

これもいつもお伝えしている事ですが、投機(トレード)において一番の敵となるのは

『自分の(色んな)感情』です。

利確の喜び、損切りの恐怖、エントリー前の不安……

挙げるとキリがありませんが、これらの感情が上下動する状態ではとてもまともなトレードは不可能です。

ですから、これらの感情が表出する余地のない『型』を作る事。

エントリーの仕方だけでなく、どんな条件で決済(損切り・利確)するのか？

自分の『型』で仕掛けるチャンスがどの時間帯に出てくる『傾向』があるか？

負けた後の立ち回りは？

そういった事を自分の中で『規格化』し、感情が出てくる余地のない『仕組み』の中で同じサイコロを振り続ける。

この一連の考え方が、僕がTwitterなどで一言でまとめてしまっている『技術』の部分です。

以下のツイートでも簡単にまとめてしまっていますが

▼参考ツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1515128096541876232?s=20&t=-dbcfxZkvrgBJCNzncM6ZQ>

自分の受け皿が成長していないうちから、気付いたら「少ない資金をすぐ大きくしたい」という

欲求に支配されてしまい、半ば「射幸心を煽られる」言葉に引っ張られて

「商材」と呼ばれるものを買ひ漁り、本質から外れた事に一生懸命取り組んでしまう。

これでは当然ですが、望むような結果が出ないので非常にツライですね。

失った時間は返ってきませんので。

極々一部の天才的才能を持ったトレーダーでもない限り、投機も含む“資産運用”というのは

『仕事以外の副収入』を得る手段であって、トレードが収益のメインではありません。

僕が 専業トレーダー になることを勧めないのも、この考えが根底にあるからです。

不確実性の塊である『相場』を相手にするわけですから、確率論に支配される以上

常に「利益だけ」を得続けられるわけではなく、狙う利益に相応の「リスク」が常に付きまとうのがトレードです。

だからこそ、不確実で不規則な値動きに対して、自分の中の確かな『基準』となる『型』を創り

その精度を高めるための『技術』を身につけた先に、初めて『どれだけのリスクを取るか』を

考える必要性が出てきます。

現状の「投機界限」と言われる世間では、その逆をやらせようとしているわけです。

このメルマガを読んでいる皆さんには、是非とも『リスクの前に技術』の意識を持って

本当の意味で相場と渡り合えるようになってほしいなと思っています。